

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年12月22日 (2016.12.22)

【公表番号】特表2016-507478(P2016-507478A)

【公表日】平成28年3月10日 (2016.3.10)

【年通号数】公開・登録公報2016-015

【出願番号】特願2015-544598(P2015-544598)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 K 8/06 (2006.01)

A 6 1 K 8/73 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/81

A 6 1 K 8/06

A 6 1 K 8/73

A 6 1 Q 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月28日 (2016.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水中油型エマルジョンの形にある化粧料組成物であって、
 2-アクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸ポリマー、
 2-アクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸とアルコールアクリレート又はアルコールメタクリレートとのコポリマー、及び
 疎水的に変成されたイヌリンベースの両親媒性ポリマー
 を少なくとも含み、上記エマルジョンの小球は15～500ミクロンの平均サイズを有し、及び油性相は上記組成物の総重量に対して35重量%未満の量で存在することを特徴とする、上記化粧料組成物。

【請求項 2】

上記組成物の総重量に対して活性物質として0.01重量%～5重量%の2-アクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸ポリマーを含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

上記組成物の総重量に対して活性物質として0.01重量%～5重量%の2-アクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸とアルコール(メタ)アクリレートとのコポリマーを含むことを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

2-アクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸とアルコール(メタ)アクリレートとのコポリマーは、2-アクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸とC₁₆-C₁₈アルコール(メタ)アクリレートとのコポリマーであることを特徴とする、請求項 1～3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

上記組成物の総重量に対して活性物質として0.01重量%～5重量%の疎水的に変成されたイ

ヌリンベースの両親媒性ポリマーを含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

イヌリンの疎水基が、 C_4-C_{32} アルキルカルバメート又は C_4-C_{32} アルキルエステル基から選択されることを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

疎水的に変成されたイヌリンベースの両親媒性ポリマーが、チコリーイヌリンに基づくことを特徴とする、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

上記油性相が、上記組成物の総重量に対して5重量%~35重量%の量で存在することを特徴とする、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

活性物質としての2-アクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸ポリマーの量に対する油性相の量の比が、40~200であることを特徴とする、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

活性物質としての2-アクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸とアルコール(メタ)アクリレートとのコポリマーの量に対する油性相の量の比が、50~200であることを特徴とする、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 11】

活性物質としての疎水的に変成されたイヌリンベースの両親媒性ポリマーの量に対する油性相の量の比が、50~200であることを特徴とする、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 12】

上記エマルジョンの上記小球の平均サイズが、15~300ミクロンであることを特徴とする、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 13】

少なくとも1つのゲル化剤をまた含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 14】

請求項 1 ~ 13 のいずれか一項に記載の化粧料組成物を調製する為の方法であって、上記油性相が、低いせん断力で水性相内にもたらされる、上記方法。

【請求項 15】

ケラチン物質を処置する為の化粧方法であって、請求項 1 ~ 13 のいずれか一項に記載の化粧料組成物がケラチン物質に施与されることを特徴とする、上記化粧方法。